

令和 4 (2022) 年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	ミレニアム大気再解析プロダクトの創出
研究代表者	芳村 圭 (東京大学・生産技術研究所・教授) ※令和 4 (2022) 年 6 月末現在
研究期間	令和 4 (2022) 年度～令和 8 (2026) 年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】 本研究は、気候代替情報と古文書天候記録の収集及びデータ同化により、世界初の過去 1000 年間の気候・気象再解析データを創出することを目的とする。新たな信号処理手法による地球物理学的・歴史学的観点から検証したのちに、これを用いた気候・気象変動と人間社会の変化の関わりについての各種要因や時空間範囲・連続性を含めた定量解析を行う。</p> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】 各種古天気情報をデータ同化手法により構造化し、扱いやすいデータセットに編集することで、過去 1000 年の歴史の中で環境変動が社会に与えた影響を客観的、定量的に明らかにしようという文理融合の研究であり、社会的な意義も高い。創出されるデータは今後、様々な気候・気象研究に活用される汎用性の高いものになると期待できる。</p>